

浜の情報：上五島水産業普及指導センター
令和3年3月24日

～ 上五島で頑張る漁業者の紹介 その5 ～

浜串漁業協同組合 深浦 智明さん（51才、指導漁業士）

漁法：延縄・曳縄・一本釣り

浜串漁協に所属する深浦さんは、大中型巻網船の乗組員やブリ養殖業の従業員として合わせて15年以上従事された後、44才の時に漁船漁業で生計を立てようと退職され、地元の漁業者と情報交換しながら技術を習得し、延縄漁業・曳縄漁業・一本釣りを組み合わせて操業されています。今年度からはたこつぼ漁業にも取組み、漁閑期や不漁の影響をできる限り小さくできるように多くの漁法に取組まれています。

今回、アマダイやレンコダイ、イトヨリダイの水揚げに立ち会いましたので、ご紹介します。

五島近海で漁獲され、氷締め・神経締めされた魚は、漁協の荷捌き所で丁寧に取り扱い、箱詰めされて出荷されます。

水揚量はなかなかのようですが、単価はコロナウイルスの影響で下がり漁業経営は厳しい状況が続いており、少しでも単価向上を図ろうと、オリジナルのステッカーを貼りアピールされています。

平成30年度に経営指導を受けられており、漁業所得の向上を目指しているところです。当センターもフォローアップ等を通じてサポートしていきたいと考えております。





出荷作業状況



漁協職員もニッコリ



「恵祥丸」ステッカーが輝いています



氷を積んで明日の操業の準備



美しく箱立てされたイトヨリダイ